



# 奥村よりかず通信

# Vol.08

令和二年  
四月

夏 亏  
令和2年7月28日

発行 奥村よりかず 京都府八幡市八幡双栗10番地の5 TEL.075-983-1168  
携帯.090-3263-1519

# 八幡市議会 6月定例会で代表質問



2月の八幡市長選挙で3期目の当選をされた堀口文昭市長に、所属する「新政クラブ」を代表して2期8年の実績と3期目初年度の施政方針について、再質問を含め61項目について質問・提案を行いました。

今回はその一部となります、ご紹介させていただきます。

尚、全文についてましては本年9月ごろに

市ホームページ → 八幡市議会 → 会議録検索 → 発言者:奥村順一  
→ 令和2年第2回定例会 上り開院式でいただけます

## アクリル板により飛散防止対策の 本会議場演壇にて

**ビジョシ** よりかず  
自肅が順次和らげられ、  
社会経済活動も徐々に  
元に戻りつつある中、日常生活に不  
安を感じておられる方への経済的支  
援については、市も積極的に取り組  
んでいます。しかし、家計と事業者へ  
の支援の受付内容は大きく異なり、  
複雑な手続きが必要です。さらに新  
しい支援策が発表されれば、一層の  
問い合わせの増加が考えられますの  
で、しっかりとした対策が必要です。

事業者向けの相談窓口や各種申請窓口などは、国や京都府、市などさまざままであり、事業者から国や京都府、市の制度も含め毎日数件問い合わせ等をいただき、対応しています。現在広報やわたや市ホームページで相談窓口や支援策等を掲載しておりますが、国や京都府では事業者に対する支援策等が次々と展開され、制度も更新されている状況です。事業者がわかりやすく支援策等が把握できるよう、ホームページなどの見やすさなどの工夫を検討します。

として、6月補正予算案に計上しています。可決すれば、新しい生活様式を含め、国や京都府の感染防止対策に関する情報も広く周知を行いたいと考えています。

## 新型コロナウイルス 感染症対策について

6月1日から新し  
ましたので、まずは各  
者が児童・生徒の実  
態把握をすることが大  
切であると考えてお  
ります。議員ご指  
摘の学びの保障総合  
対策パッケージで示さ  
れている学習活動の  
重点化や人的体制の  
緊急整備を活用しな  
がら、きめ細かな対応



次は、授業時数の回復は現在のところ夏季休業の開始日を当初の7月21日から8月8日とし、また夏季休業の休業終了日を当初の8月26日から8月24日とすることで、休業期間を31日間から16日間に短縮いたしました。

答  
弁  
児童・生徒には、長期の臨時休業等によりさまざまな変化があると考えております。そうした中で、きめ細かなる児童・生徒の観察を行うとともに、ささいな変化を見逃さず、必要に応じて組織的に対応できるよう指示していくます。また、コロナウイルス感染症についての不安を軽減するため、発達段階に応じて正しい知識により、行動への意識化を図れるよう指導しています。

子ども・子育て支援事業計画について第2期八幡市子ども・子育て支援事業計画の中で、貧困の連鎖を防ぐことを目的とした教育支援、親子とも元気で生き生きと過ごすための生活支援、経済的自立を視野に入れた経済的支援、子どもの貧困対策に取り組むための体制の構築をポイントとして掲げ、就学援助や医療給付などの各種経済的支援や、経済的自立のための資格取得に向けた支援などの取組を行っていきます。

「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が平成26年1月施行。貧困の連鎖を断ち切るための取り組みと、今後本市としての方針は?

「子どもが輝く  
未来の創生」を進め  
まちづくりについて



ところで学力をを保障してまいりたいたいと考へております。  
また、小・中学校の最終学年への対応は、特に中学3年生は進路の問題もあり、重点的に取組を進める必要があると考へております。

## 質問

就学前施設の今後の整備に対する取り組みや方針は?

## 答弁

子ども・子育て会議の答申を踏まえ、保育の質の向上と職員体制の充実、幼小連携の推進や園児数の適正規模を確保する観点から、保育園と幼稚園を集約し、認定こども園に移行するなど、引き続き待機児童を発生させないよう地域の実情に応じた再編の取組に努めます。まことに、令和2年度をもつて都保育園を廃園し、有都こども園に統合するための準備を進めています。



副市長

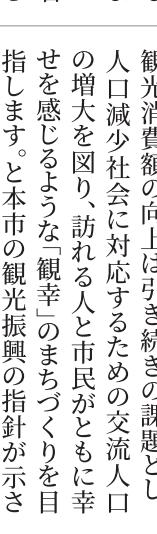
## 答弁

本市には、石清水八幡宮や松花堂庭園、流れ橋などの歴史的景観、男山周辺や三川合流周辺に代表されるほかにも多様な景観資源がございます。これらの適切な保存・活用を図り、市民が誇りに感じられることがもとより、本市を訪れていただく人にどうでも、八幡市らしさが感じられるような景観形成の必要性はますます高まるものと考えております。

## 堀口市長

経常的経費の5%削減、事業廃止を含めた様々な行政改革やたばこ税の增收によりまして、令和4年度の収支不足額は現在約15億円と見込んでおり、改善傾向にござります。一方で、人口減少に伴う税収減、高齢化に伴う社会福祉関係経費の増額傾向は変わらないこと、加えて新型コロナウイルス感染症が地域経済や税収に及ぼす影響がプラスではないことから、令和4年度以降も厳しい財政収支になると見込んでおります。

その対策をどのように講じるかは、新名神高速道路の全線開通後を見据えたまちづくりを進めることで、人口や市税の減少の抑制を図り、企業誘致を含めた雇用創出、観光の魅力発信による関係人口の創出などが重要であると考えております。それと同時に、八幡健幸まちづくり条例の制定を通じ、市民の皆様が健康で生き生きと暮らせるような施策の充実に取り組み、結果として医療費等の削減につながるよう財政の健全化を推進してまいります。



まちの健幸について、平成29年度に今後30年間の長期計画とし、公共施設等総合管理計画を作成されました。先の長い計画ではありますが、この計画についての取り組み状況は?

## 答弁

堀口市長

この計画は、公共施設の長寿命化の実施方針として、ライフサイクル全体を通じたコスト削減につながる事業計画、いわゆる個別施設計画の立案が必要と規定しております。個別施設計画の策定状況は、昨年度末の時点<sup>163</sup>で、対象施設中38施設が計画策定済み、12施設が策定中です。残る施設の中で個別計画を策定する必要がある70施設程度は、今回着手を予定しています。

観光消費額の向上は引き続きの課題とし、人口減少社会に対応するための交流人口の増大を図り、訪れる人と市民がともに幸せを感じるような「観幸」のまちづくりを目指します。と本市の観光振興の指針が示されています。

観光消費額の向上は引き続きの課題とし、人口減少社会に対応するための交流人口の増大を図り、訪れる人と市民がともに幸せを感じるような「観幸」のまちづくりを目指します。と本市の観光振興の指針が示されています。

本年度は、海外からの訪問者にもおもてなしのできる多言語解説の整備にも新たに取り組むが、次に取り組むべき戦略は?

## 答弁

堀口市長

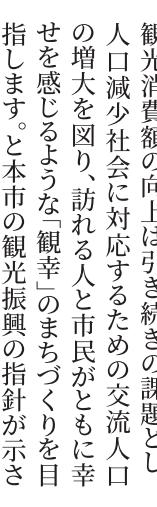
**よりかず ビジョン** 現在の65歳以上の市民は21909名と本市人口の約30.96%です。市長は就任後すぐに市民の健康意識調査をされました。成人生活習慣病をはじめ基礎疾患の軽減を図ることこそが健康維持には肝要であり、健全な財政運営可能なまちづくりに結び付き、また、出歩きたくなる景観についても健幸づくりの一役を担うものと考えます。

『訪れてよし』のまちの創生』を進めるまちづくりについて

## 答弁

堀口市長

現在の財政シミュレーションの中には、今後の公共・公用施設などの改修等大規模事業を見込んでいるが、令和3年度、令和4年度にはそれぞれ約14億円と約11億円の収支不足が推定されているが、現時点での考えは?

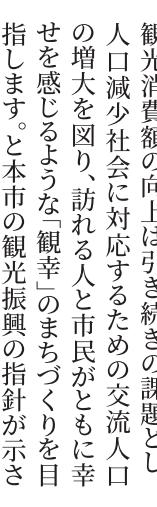


平成30年3月に策定いたしました第5次八幡市総合計画の将来都市像をみんなでつくって好きになる健やかで心豊かに暮らせるまち、住んでよし。訪れてよし、スマートウェルネスシティ、スマートウェルカミングシティ八幡と掲げており、将来都市像の実現のため、市民の皆様を初め民間事業者など多くの方々との協働を進めながら、令和の時代の八幡市の礎づくりに取り組みます。

平成30年3月に策定いたしました第5次八幡市総合計画の将来都市像をみんなでつくって好きになる健やかで心豊かに暮らせるまち、住んでよし。訪れてよし、スマートウェルネスシティ、スマートウェルカミングシティ八幡と掲げており、将来都市像の実現のため、市民の皆様を初め民間事業者など多くの方々との協働を進めながら、令和の時代の八幡市の礎づくりに取り組みます。

## 答弁

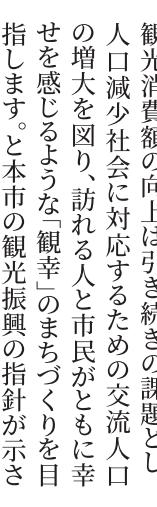
副市長



コンパクトな八幡市には神社や社寺が多く、我が国の歴史や文化の本質を体験・理解していくたくには極めて適した広い距離感である。社寺連絡協議会が発足され定期間は経過しているが、今後の取り組みは?

## 答弁

副市長



平成19年7月に発足した八幡市社寺等観光施設連絡会は、当初より2会員が増え、現在9会員となっており、当会で取り組んだ文化財一斉公開やご朱印めぐり等の催しありました。しかし、予算編成においては大きな成果であると考えます。

駅前整備等観光まちづくり構想や、観光基本計画では、観光とは、単なる遊興を求めるのではなく、その土地で古来積み重ねられた「國の威光」を観察する」とことばの語意より解釈し、門前町であつた八幡のまちの成り立ちに今一度、思いをはせ、歴史・文化的な価値を追求する。

本市には、石清水八幡宮や松花堂庭園、流れ橋などの歴史的景観、男山周辺や三川合流周辺に代表されるほかにも多様な景観資源がございます。これらの適切な保存・活用を図り、市民が誇りに感じられることがもとより、本市を訪れていただく人にどうでも、八幡市らしさが感じられるような景観形成の必要性はますます高まるものと考えております。

まちの健幸について、平成29年度に今後30年間の長期計画とし、公共施設等総合管理計画を作成されました。先の長い計画ではありますが、この計画についての取り組み状況は?

この計画は、公共施設の長寿命化の実施方針として、ライフサイクル全体を通じたコスト削減につながる事業計画、いわゆる個別施設計画の立案が必要と規定しております。個別施設計画の策定状況は、昨年度末の時点<sup>163</sup>で、対象施設中38施設が計画策定済み、12施設が策定中です。残る施設の中で個別計画を策定する必要がある70施設程度は、今回着手を予定しています。

まちの健幸について、平成29年度に今後30年間の長期計画とし、公共施設等総合管理計画を作成されました。先の長い計画ではありますが、この計画についての取り組み状況は?

この計画は、公共施設の長寿命化の実施方針として、ライフサイクル全体を通じたコスト削減につながる事業計画、いわゆる個別施設計画の立案が必要と規定おります。個別施設計画の策定状況は、昨年度末の時点<sup>163</sup>で、対象施設中38施設が計画策定済み、12施設が策定中です。残る施設の中で個別計画を策定する必要がある70施設程度は、今回着手を予定しています。

まちの健幸について、平成29年度に今後30年間の長期計画とし、公共施設等

An illustration showing a green and white train on a track next to a station platform. The platform has a blue roof and a sign that says "OO駅". A green vertical bar with the text "質問" (Question) is positioned to the left of the train.

また、当連絡会の枠組みで、本市が事務局となり応募した観光庁の地域観光資源の多言語解説整備支援事業について、今年度採択いただいております。当連絡会員の社寺等に不足している多言語解説の整備に向け、観光庁の制度を活用しながら連携して取り組みます。

## 質問

本市の北の玄関口であり、都市機能誘導エリアとして位置づけられている石清水八幡宮駅前は、駅周辺としての交流拠点や発展と調和の産業ゾーンとしての機能の一層充実が必要。只、駅周辺地域のハード面の整備については、地権者を中心とした民間主体によるところが実情だが、八幡市として駅周辺整備の関わり方についての考え方は?

駅周辺に活用できる市有地がほとんどなく、新たに市が主体となって施設を整備する場合には大きな費用負担が生じます。そのため、市の土地利用方針に沿ったまちづくりを進めるには、民間デベロッパーの進出や地元住民、地権者の機運の高まりが必須です。市の関わりは、民間事業者などの再整備に向けた取組の熟度に合わせ、国や京都府など関係機関との調整や助言などの技術的な支援、取組への補助金給付などの支援を想定しています。

## 答弁

### 副市長

『「住んでよし」のまちの創生』について

## 質問

橋本駅周辺交流拠点の中心となる

橋本駅南側の整備について、橋本駅周辺の整備が一定完了時点の駅利用者

の増減を含め、当

副市長	答弁	質問
		<p>橋本駅前整備は、無電柱化を図りながら改札口からロータリーまでに間に屋根つきのパリアフリー通路の整備、また新設ロータリー内に身障者用・マイカー用・タクシー用の乗降場を配置するなど、歩行者や自動車の橋本駅やロータリーへのアクセスを重視した計画です。周辺道路の再配置による拡幅整備などにより、駅への歩行者の動線や自動車などのアクセス経路は変わりますが安全性の向上や人や車の移動利便性の大きな向上にもつながり、橋本駅利用者も徐々に増えるものと考えております。</p> 
副市長	答弁	<p>全国的に、空き家数は増加することが目込まれており、本市では、その事態を把握するため平成30年度に空き家実態調査を行いました。その結果を踏まえ、放置状態にあるものへの対処や利活用など、総合的かつ計画的な空き家対策を目的に八幡市空き家等対策計画を策定しました。策定過程では、パブリックコメントにて市民の皆様のご意見もお聞きする予定です。</p> 

**答弁** 外国人受け入れ企業やUR都市機構、警察等の関係機関と連携し、地域での暮らしにじんでいただけるよう、昨年度に引き続き、住み方に関する説明会や交流会等の開催を検討しています。また、市の職員にはやさしい日本語に関する研修を実施し、多言語対応の各種制度の説明資料や自動翻訳機等を活用しつつ、どこの窓口でも担当課等につなげることができるよう努めます。

**質問** 公民館の現在の課題と、どのような学習機会の提供を考えているか？

**答弁** 教育長 課題は、近年のグローバル化やIT技術の進展、急速な高齢化や人口減少、地域のつながりの希薄化など、現代社会を取り巻くさまざまな課題と認識しております。

学習機会の提供は、現在的課題に対応した講座は英会話教室、健康講座、シニア向けスマートフォン、タブレット教室など、子どもを対象とした講座は、理科の実験やお茶席の体験、ロボット工作などの教室。今後とも地域のニーズに応じてより一層の学習機会の充実に努めます。

**質問** 「地域未来投資促進法」の現在の進捗状況は？

**答弁** 堀口市長 地域内経済の好循環を図るため、地域未来投資促進法に基づき八幡市基本計画策定し、本年3月に国の同意を得ました。同計画を進めていく上で、まずは計画の審査及び地域経済牽引事業の促進に関し必要な事項について協議する地域経済牽引事業促進協議会の組織化等がございますが、現在は、新型コロナウイルス感染症の影響による影響について協議する地域経済牽引事業促進協議会の組織化等がござりますが、

**「安心して暮らせる安全で快適なまちづくり」について**

**質問**

食品を製造する際に安全を確保するための管理方法である「危害分析重要管理点」と日本語では訳されておりますHACCP(ハサップ)について、平成30年に改正食品安全衛生法が国会で可決され、来年の6月には全面実施されます。学校給食への影響は?また業界への取り組みは?

**答弁**

既にHACCPの考え方を取り入れた大量調理施設衛生管理マニュアルにより衛生管理を行っており、学校給食への影響はございません。また、給食の運搬につきましても、学校給食法、学校給食衛生管理基準、食品衛生法等に基づき、風雨、ちり、ほこりを完全に防ぐことができる車両の使用や、業務従事者毎月2回の検便を実施し、衛生管

**よりかず  
ビジョン**

「地域未来投資促進法」は官民の共同による、持続可能な都市経営の実現に向けた取り組みです。令和5年度の新名神高速道路の全線開通と共に、人口減少に伴う税源涵養策として大きく期待できると考えます。又、生産年齢人口減少時代を迎えるにあたり、常住人口、交流人口の増大を同時に図ることも可能であると考えます。



## 令和元年度の 主な活動記録

石清水八幡宮  
鬼やらい神事にてスカウト  
育成会長として  
石清水八幡宮  
青年会総会出席後援会事業  
行政視察

**答弁**  
本年度、木津川下流域4市2町（木津川市、精華町、京田辺市、城陽市、久御山町、八幡市）を対象に25億2千万円が予算付けされました。対象地域が広範囲です。この木津川下流域を対象にした事業はどのようなものか？八幡市はどういう取り組みを考えているのか？



都市整備部長

**答弁**  
この事業は、自然災害時における重要な機能維持の観点から進められております。防災・減災国土強靭化のための3ヵ年緊急対策として位置づけられております。八幡市域におきましては、八幡科手地区と八幡浜地区の2ヵ所で堤防強化対策などを実施

**答弁**  
この事業は、自然災害時における重要な機能維持の観点から進められております。防災・減災国土強靭化のための3ヵ年緊急対策として位置づけられております。八幡市域におきましては、八幡科手地区と八幡浜地区の2ヵ所で堤防強化対策などを実施

**答弁**  
このたび市内の会員事業所の衛生管理向上を目的に、八幡市食品衛生協会が再度設立されるまことから、京都府食品衛生協会や綴喜食品衛生協会との連携のもと、HACCPの導入支援などが一層推進されるものと考えております。

答弁

堀口市長

このたび市内の会員事業所の衛生管理向上を目的に、八幡市食品衛生協会が再度設立されるまことから、京都府食品衛生協会や綴喜食品衛生協会との連携のもと、HACCPの導入支援などが一層推進されるものと考えております。

する予定で、これをもって八幡市域における一連の堤防強化対策は完了すると国土交通省淀川河川事務所から伺っております。木津川沿線の自治体で構成する木津川治水会を通して、総合的な治水に向けた整備要望を毎年行っています。

**質問**  
本年度、木津川下流域4市2町（木津川市、精華町、京田辺市、城陽市、久御山町、八幡市）を対象に25億2千万円が予算付けされました。対象地域が広範囲です。この木津川下流域を対象にした事業はどのようなものか？八幡市はどういう取り組みを考えているのか？

**答弁**  
地籍調査について、スピード感についての考え方は？

堀口市長

**答弁**  
地籍調査は、京都府全体で8%の進捗率で、本市にでも平成29年度に本格的に開始したところです。八幡市域における地籍調査は、できるだけ早い完了を目指してまいりますが、全市域の土地の調査完了までは相当の年月を要すると考えております。今後の展開については、現在取り組んでいる西山地区は、令和4年度の事業完了を見込んでおります。西山地区完了以降は、効率的な事業執行の観点から西山地区に隣接した地域の実施を考えています。

## 令和2年 第1回 定例会（3月開催）並びに 第2回 定例会（6月開催）の

### 予算特別委員として令和2年度の市政の予算案を審査

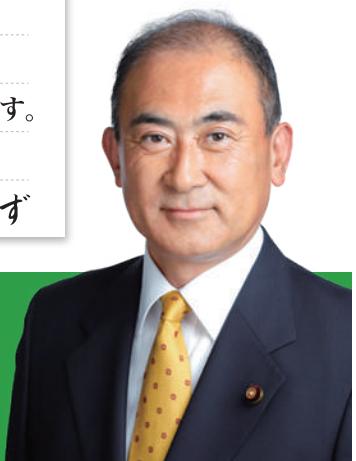
今回の第2回定例会（6月開催）において市長提出の施政方針に伴う令和2年度補正予算が上程されました。それに伴い予算特別委員会が設置され、第1回定例会に引き続き、その特別委員会の委員として、この度の提案金額17億4,048万5千円の内容について審査いたしました。

その内容は、新型コロナの関する支援金や給付金の民生費や衛生費等、また、児童生徒へのパソコン貸与のGAGAスクール構想や中学校の屋内運動場へのエアコン設置、更に橋本駅周辺拠点整備事業費などのインフラ整備費等の補正予算を審議し、提案通りに賛成いたしました。また、ゆうちょ銀行への振込依頼用紙の見直しを提案いたしました。

コロナ渦の中、市民の皆様が安心して新しい生活様式に準じて、日常を過ごすことができるよう施策を確実に進めなければなりません。

一方で、市民、行政が一つとなり新型コロナ感染拡大予防に取り組む事が大切だと考えます。皆様におかれましては、季節柄どうぞ自愛いただけますようご祈念申しあげます。

奥村よりかず



## 八幡市議会議員 奥村よりかず 事務所

〒614-8024 八幡市八幡双栗10番地の5 TEL 075-983-1168 携帯 090-3263-1519

<http://yorikazu.com/>